



## 東地中海地域ニュース

### イラン情勢(14)

研究員 山崎 和美

ムーサヴィー(報道などではムサビ)元首相だけでなく、改革派ハータミー(ハタミ)大統領も「大統領選の結果は無効」と改めて当局側の対応を非難した。一方、強硬派議員やバスィージの学生支部は、ムーサヴィー元首相の刑事責任を問う動きを見せている。

7月1日(水)

#### 大統領選後の騒乱で 1032 人逮捕

警察幹部は、大統領戦後の騒乱で 1032 人が逮捕され、暴徒 20 人が死亡したと述べた。

#### 拘束者は一部処刑の可能性

大統領選後の混乱で拘束された 2000 以上と見られる改革派支持者の処遇について、改革派系の弁護士が毎日新聞に「大半は 2 週間以内に釈放される見通しだが、一部は処刑される可能性がある」と語った。反体制的な抗議行動を組織した一部を「見せしめ」的に厳罰に処すことで、抗議の再燃を抑え込みたい狙いがあるという。

#### イラン軍高官：「EU は核交渉の資格なし」

フィールーザーバーディー(フィロウザバディ)参謀長官は、大統領選後の内政問題に干渉したとして、欧州連合(EU)はイラン核開発をめぐる交渉にかかわる資格はないと声明した。

#### ムーサヴィー元首相：「新政権は正当性ない」

ムーサヴィー元首相は1日、ウェブサイトを通じ、アフマディーネジャード(アハマディネジャド、アフマディネジャド)大統領の新政権は「正統性がない」との声明を出し、拘束されたデモ参加者らの釈放、改革派系新聞発刊停止およびサイト閉鎖措置の解除を要求した。

#### ハータミー前大統領：「大統領選の結果は無効」

改革派のハータミー前大統領は「(選挙結果は)国民と民主主義に対するクーデターだ」と厳しく非難する声明を発表した。改革派陣営は、国民的人気の高いハータミー氏も加わって、選挙結果を追認した最高指導者ハーメネイー(ハメネイ)師との対決も辞さない構えで、当局側の対応を非難し、抗議活動で逮捕された市民の釈放を求めている。

#### 大統領：リビアでの AU 首脳会議参加取り止め

アフマディーネジャード大統領はアフリカ連合(AU)首脳会議へのオブザーバー参加のため、1日から3日間の日程で予定していたリビア訪問を中止した。外務報道官は「多忙のため」と説明したが、国内情勢への懸念が背景にあるようだ。

## **ファールス通信：「ニューズウィーク記者がでっちあげ告白」**

イランのファールス(ファルス)通信は、同国で逮捕された米誌ニューズウィークの記者が、「外国メディアのためにでっち上げの記事を書いた」と告白したと伝えた。

## **故フセイン大統領：大量破壊兵器査察拒否は米よりイランを恐れたため**

イラクの故フセイン元大統領が 2003 年に米軍に拘束された後、米連邦捜査局(FBI)の捜査官に対し、イラクが大量破壊兵器を保有していないにもかかわらず、国連の査察を拒絶し続けたのは、最大の脅威のイランに弱みを悟られないためだったと証言していたことが明らかになった。米ジョージ・ワシントン大学の国家安全保障公文書館が、04 年に行われた 20 回の取り調べと捜査官との 5 回の会話の記録を入手し、公表した。

7月2日

## **EU：英国提案の駐イラン大使召還検討**

欧州連合(EU、加盟 27 カ国)は 2 日、ストックホルムで外務省高官会合を開き、イラン情勢を協議した。イラン政府に対する抗議の意思表示として駐イラン大使の召還を求める英国の提案を検討する。一部加盟国は「対話窓口を閉ざすべきではない」と反対しており、EUとしての共同歩調が取れるかどうかは不明である。

## **IAEA：次期事務局長に天野氏**

国際原子力機関(IAEA)のエルバラダイ事務局長の後任を決める特別理事会が 2 日、ウィーンの本部で開かれ、天野之弥ウィーン国際機関代表部大使(62)が選出された。天野氏は被爆国出身者として初めて「核の番人」のトップを担い、北朝鮮やイランの核問題解決に向け、陣頭指揮を執る。任期は今年 12 月から 2013 年 11 月までの 4 年間である。ただし、開発途上国には「親米派」の日本からの選出に警戒感を抱く国も少なくない。北朝鮮やイランの核問題といった難題を抱える中で、難しい舵取りを迫られる。

## **イラン強硬派：ムーサヴィー元首相に刑事責任問う動き**

イラン大統領選の結果をめぐり抗議活動を続ける改革派のムーサヴィー元首相らに対し、強硬派の議員などは、デモを扇動したとして刑事責任を問う動きを強めている。強硬派のラハバール議員は、2 日付の国内紙に「違法な集会を開催した者は法に問われるべきだ」と発言し、複数の議員がムーサヴィー氏の活動について、司法当局に書面で抗議する用意をしていると明かした。

また、バスィージ(バシジ。革命防衛隊の動員部門、民兵組織)の学生支部も、司法長官にムーサヴィー氏を訴追するよう求めている。

## **メルケル独首相：サミットでイランに強いシグナル**

ドイツのメルケル首相は、8 日からイタリアのラクイラで開催されるサミットで、参加各国がイランに対して強いシグナルを送るよう求める考えを明らかにした。

---

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799